

スーパーマーケット景況感調査(5月速報版)

概況

回答企業数305社

○売上

現状は「増加」が28.2%、「減少」が35.7%、見通しは「増加」が22.7%、「減少」が32.3%である。
現状判断DIは47.5、見通しDIは47.2で、横ばいを示す50の水準に近づきつつある。

○収益率

現状は「改善」が17.7%、「悪化」が38.0%、見通しは「改善」が19.4%、「悪化」が31.3%である。
現状判断DIは44.6、見通しDIは46.9と、見通しDIが現状判断DIをやや上回っており、先行き改善の兆しがうかがえる。

○客単価

現状は「上昇」が16.7%、「低下」が43.9%、見通しは「上昇」が14.5%、「低下」が36.6%である。
現状判断DIは42.5、見通しDIは43.9と、いずれも横ばいを示す50を下回り、客単価の落ち込みが収益を圧迫している様子がうかがえる。

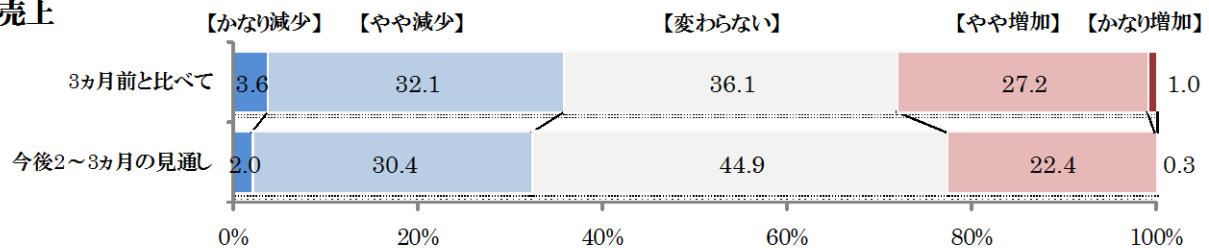
○地域の景気

現状は「改善」が8.5%、「悪化」が40.3%、見通しは「改善」が8.8%、「悪化」が37.5%である。
景気の現状判断DIは40.8、見通しDIは42.2と、いずれも横ばいを示す50を大きく下回っており、地域の景気が依然厳しい状況にあることが示されている。

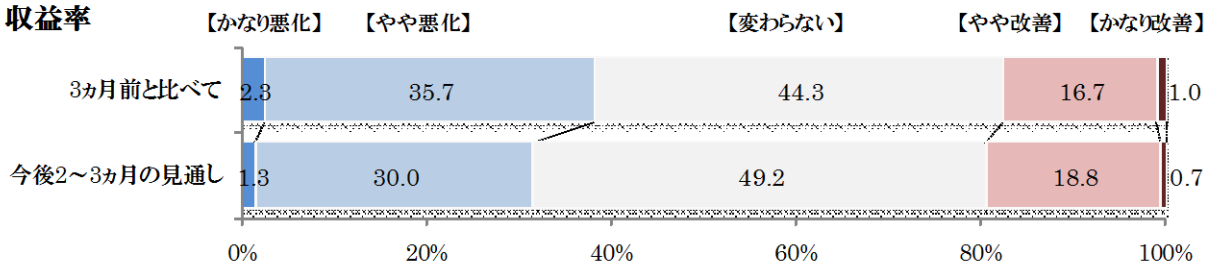
以上のように、売上高回復の兆しはみられるものの、客単価の低下で収益率の回復につながらない状況が示されている。また、地域の景気は多くの店で依然として厳しいと判断している。

回答構成比(%)

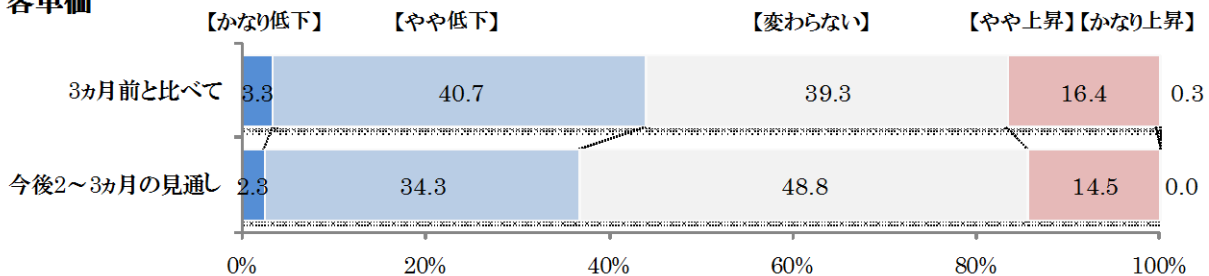
1. 売上



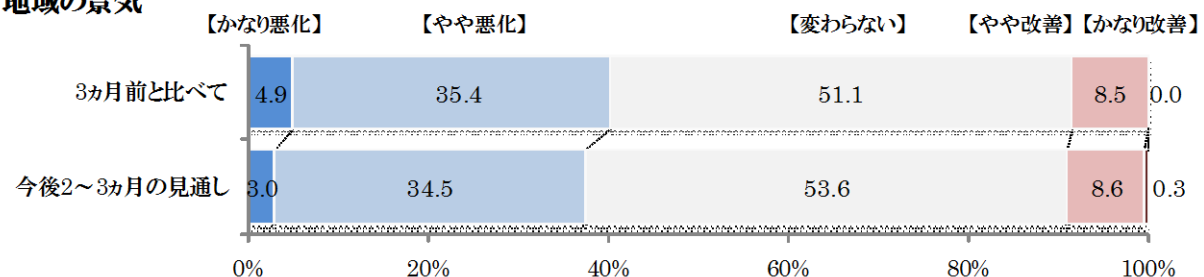
2. 収益率



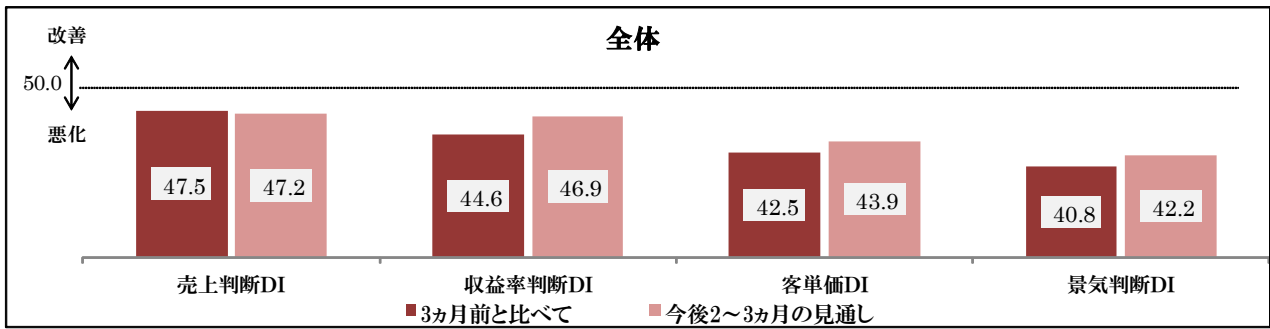
3. 客単価



4. 地域の景気



スーパーマーケットDIの動向



地域別比較

